

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2006年1月31日から無期限です。	
運用方針	「Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ」（米ドル建）への投資を通じて、主としてインドの株式（ADR（米国預託証券）およびGDR（グローバル預託証券）を含む）に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。なお、CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）（円建）への投資も行います。原則として、為替ヘッジは行いません。	
主要運用対象	アムンディ・りそなインド・ファンド	Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）
	Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ	インドの株式（ADR（米国預託証券）およびGDR（グローバル預託証券）を含む）
	CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）	本邦通貨表示の短期公社債
組入制限	株式（新株引受権証券及び新株予約権証券を含みます）への直接投資は行いません。外貨建資産（外貨建資産を組入可能な投資信託証券を含みます）の投資割合には制限を設けません。	
分配方針	毎決算時（年2回、原則毎年6月15日および12月15日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分も含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。収益分配金額は、委託会社が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

愛称：マハラジャ  
アムンディ・りそなインド・ファンド

運用報告書（全体版）

第36期（決算日 2023年12月15日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに、期中の運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目9番2号

お客様サポートライン：050-4561-2500

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページアドレス：<https://www.amundi.co.jp/>

<3298439・3326683>

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		投資信託 受益証券 組入比率	投資 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配額)	税込み 分配金	期中 騰落率		期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
32期(2021年12月15日)	12,765	500	9.0	35,120	10.8	0.1	98.0	24,110
33期(2022年6月15日)	12,505	500	1.9	36,510	4.0	0.1	98.1	23,649
34期(2022年12月15日)	13,403	500	11.2	40,920	12.1	0.1	97.3	25,570
35期(2023年6月15日)	13,550	500	4.8	42,156	3.0	0.1	96.2	27,347
36期(2023年12月15日)	14,883	500	13.5	48,977	16.2	0.1	98.3	34,394

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(参考指数について)

参考指数は、MSCIインド10/40インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）です。ただし、設定日から2011年3月14日までの参考指数はS&P/BSE SENSEX インド指数（円換算ベース）でした。参考指数はS&P/BSE SENSEX インド指数（円換算ベース）と連続させて指数化しています。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しております。MSCIインド10/40インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、S&P/BSE SENSEX 指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はスタンダード&ブアーズ ファイナンシャル サービスーズ エル エル シー（S&P）に帰属します。以下同じ。

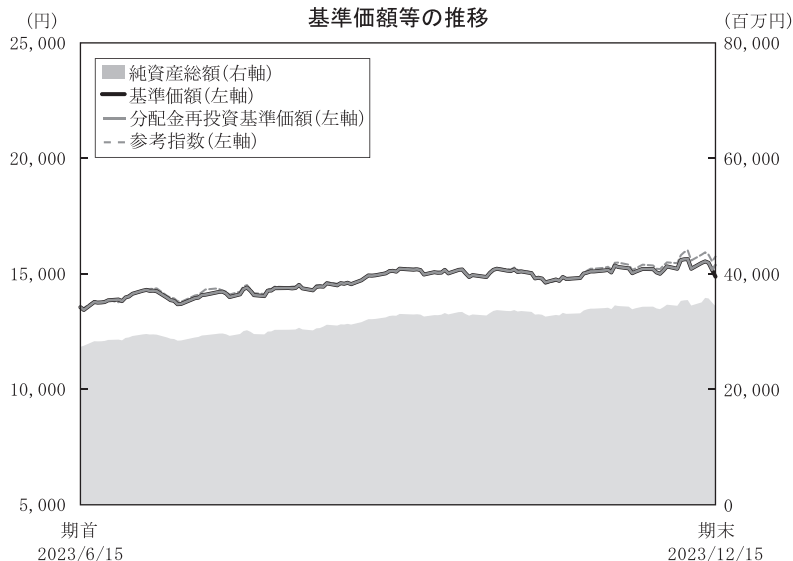
■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		投資信託 受益証券 組入比率	投資 証券 組入比率
		騰落率		騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2023年6月15日	13,550	—	42,156	—	0.1	96.2
6月末	14,135	4.3	43,992	4.4	0.1	97.6
7月末	14,113	4.2	44,262	5.0	0.1	97.5
8月末	14,609	7.8	45,516	8.0	0.1	98.2
9月末	15,023	10.9	46,700	10.8	0.1	98.2
10月末	14,699	8.5	45,789	8.6	0.1	97.7
11月末	15,148	11.8	47,760	13.3	0.1	97.9
(期末)						
2023年12月15日	15,383	13.5	48,977	16.2	0.1	98.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

【基準価額等の推移】

第36期首	13,550円
第36期末	14,883円
既払分配金 (税込み)	500円
騰落率	13.5% (分配金再投資ベース)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 参考指数は、MSCIインド10/40インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）です。
- (注4) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2023年6月15日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

【基準価額の主な変動要因】

上昇要因

- ①期を通じて海外投資家からの資金流入があったこと
- ②2023年10～11月に発表された第2四半期決算が市場予想を上回り好調であったこと
- ③11月に、F R B（米連邦準備理事会）による今後の政策金利に対するハト派姿勢への期待を背景とした金利低下により、インド株式市場が上昇したこと

下落要因

- ①2023年8月に、株式市場が債券利回りの上昇や海外投資家の利益確定の動きにより下落したこと
- ②7月～8月に発表された第1四半期決算で、原材料価格の下落が利益の伸びを支援したにもかかわらず、売上高が低調だったこと
- ③10月にインドの債券利回りが上昇し、海外投資家のセンチメント悪化により株式が売却されインド株式市場が下落したこと

**【投資環境】****<インド株式市場>**

当期中に、S&P/BSE SENSEXインド指数は現地通貨ベースで上昇しました。セクター別にみると、公益事業、不動産、資本財・サービスが好調だった一方、生活必需品、素材、金融は振るいませんでした。また、同期間中、海外および国内機関投資家のフローは、いずれもプラスとなりました。

インドの第2四半期GDP（国内総生産）成長率は前年同期比7.6%と、市場のコンセンサスやインド準備銀行（中央銀行）予想を上回りました。世界の成長率が大幅な減速を回避した結果、輸出額が予想よりも好調となったことや、政府資本支出の前倒し、不動産セクターの回復が、GDP成長率に寄与しました。一方、消費需要は依然として低調となりました。家計消費の回復が伸び悩んでいますが、インドでは建設活動や資本支出が拡大していることから、雇用増や消費需要の改善につながるとみています。

**<為替市場>**

当期のインドルピー／円相場は、期初に弱含む場面がみられたものの、2023年11月半ばにかけて上昇基調となりました。期末にかけてはやや下落し、期初と同水準で当期を終えました。期初は1.7円台前半で始まり、一時上昇したものの、米インフレ率の鈍化や日銀の金融政策が見直されるとの観測から7月半ばにかけ1.6円台後半まで下落しました。その後インドルピーは、11月半ばにかけて堅調に推移し1.8円台前半まで上昇しましたが、期末にかけては利下げへの期待を反映した米国長期金利の低下を背景に、当期中の水準近辺へ値を戻しました。

**<日本短期国債市場>**

当期の短期国債市場では、日銀によるマイナス金利政策のもと、TDB（国庫短期証券）3ヵ月物利回りがマイナス圏での推移を継続しました。TDB 3ヵ月物利回りは、マイナス圏で-0.10%から-0.20%を中心に推移しましたが、9月末から10月初にかけては年末越えの担保差入れ需要により一時-0.30%近辺までマイナス幅を拡大するような局面もありました。

**【ポートフォリオ】****<当ファンド>**

当ファンドは主として、インドの株式（ADR（米国預託証券）およびGDR（グローバル預託証券）を含む）を主要投資対象とする「Amundi Funds SBI FMインディア・エクイティ」と「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」に投資することにより、その実質的な運用はそれぞれの投資先ファンドが行い、中長期的な信託財産の成長を目指した運用を行いました。当ファンドは「Amundi Funds SBI FMインディア・エクイティ」に90%以上投資することを基本方針としていることから、当該ファンドを高位に組入れ運用を行いました。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

## <Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ>

当ファンドは当期中に、一般消費財・サービス、資本財・サービス、金融等のウェイトを引き上げ、エネルギー、情報技術等のウェイトを引き下げました。

当期中にパフォーマンスへプラス寄与したのは、資本財・サービスや生活必需品のオーバーウェイト、素材、生活必需品、金融の銘柄選択等でした。一方、公益事業のアンダーウェイトと金融のオーバーウェイト、一般消費財・サービスおよび資本財・サービスの銘柄選択等はマイナスに働きました。

(アムンディ・ホンコン・リミテッド)

## <CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）>

当期、主として12ヵ月以内に償還を迎える地方債への投資により、安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

### 【分配金】

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、分配を行いました（分配金額および分配原資の内訳につきましては、後記の「分配金のお知らせ」をご覧ください）。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

### 【今後の運用方針】

#### <当ファンド>

引き続き、当ファンドが主に投資する「Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ」の組入比率を高位に維持する予定です。この投資比率は短期的な視点で判断するものではなく、継続性を重視しています。なお、「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」（円建）にも投資を行います。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

## <Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ>

より長期的な収益環境は依然としてインドにプラスに働いています。これはGDPに対する収益のトレンドが過去3年にわたり上昇していることに表れています。短期的なバリュエーションには若干行き過ぎの感がありますが、インドの長期的な成長シナリオは引き続き魅力的と思われる。複数の要因が投資活動やインドの収益サイクルを後押ししていくと見込んでいます。インドでは製造業や投資の回復に主導された経済成長や収益の成長に向けて準備が整ったように見え、これが長期的に株式にプラスに働く主な要因になると見込まれます。よって、インドの長期的な投資テーマは引き続き魅力的と考えます。当ファンドは引き続き投資プロセスに重点を置き、ボトムアップ・アプローチに注力する方針です。

(アムンディ・ホンコン・リミテッド)

## <CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）>

安全性重視の観点から、12ヵ月以内に償還を迎える債券への投資により安定的な運用を行います。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第36期 (2023年6月16日 ～2023年12月15日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 )  ( 受 託 会 社 )	91円 (31) (56)  ( 4 )	0.621% (0.209) (0.385)  (0.027)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )  ( 監 査 費 用 ) ( そ の 他 )	1 ( 0 )  ( 1 ) ( 0 )	0.006 (0.000)  (0.005) (0.001)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・ 資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	92	0.627	

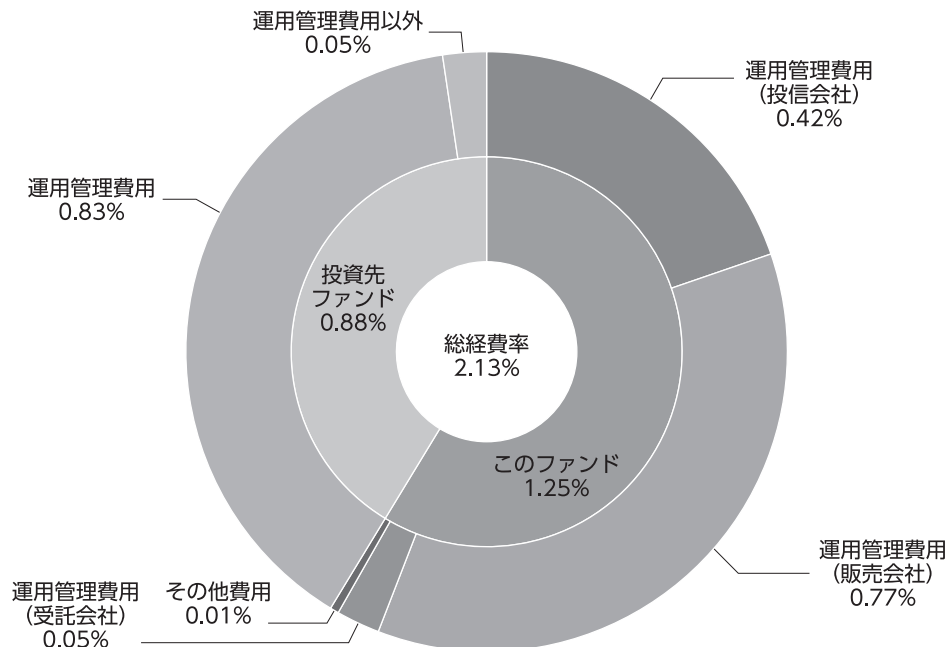
期中の平均基準価額は14,621円です。

- (注1) 費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。  
(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。  
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.13%です。



総経費率 (①+②+③)	2.13%
①このファンドの費用の比率	1.25%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.83%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2023年6月16日から2023年12月15日まで）

投資信託受益証券、投資証券

		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
外国	(ルクセンブルク) Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ	千口 63	千米ドル 26,949	千口 7	千米ドル 3,599

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

■利害関係人との取引状況等（2023年6月16日から2023年12月15日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2023年12月15日現在）

(1) 国内（邦貨建）投資信託受益証券

銘 柄		期首(前期末)	当 期		末
		口 数	口 数	評 価	額
CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）		千口 30,735	千口 30,735	千円 30,796	千円 30,796
合 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	30,735 1	30,735 1	30,796 <0.1%>	30,796 <0.1%>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。以下同じ。

(注2) 単位未満は切捨てです。以下同じ。

(2) 外国（外貨建）投資証券

銘 柄		期首(前期末)	当 期			末
		口 数	口 数	評 価		額
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(ルクセンブルク) Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ		千口 460	千口 516	千米ドル 237,253	千円 33,808,668	千円 33,808,668
合 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	460 1	516 1	237,253 -	33,808,668 <98.3%>	33,808,668 <98.3%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。



■投資信託財産の構成 (2023年12月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	30,796	0.1
投 資 証 券	33,808,668	94.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,941,071	5.4
投 資 信 託 財 産 総 額	35,780,535	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (33,810,199千円) の投資信託財産総額 (35,780,535千円) に対する比率は94.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2023年12月15日現在における邦貨換算レートは、1米ドル=142.50円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2023年12月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	35,780,535,423円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,941,070,153
投資信託受益証券(評価額)	30,796,680
投資証券(評価額)	33,808,668,590
(B) 負 債	1,386,409,685
未払収益分配金	1,155,455,354
未払解約金	31,896,515
未払信託報酬	197,394,871
その他未払費用	1,662,945
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	34,394,125,738
元 本	23,109,107,082
次期繰越損益金	11,285,018,656
(D) 受 益 権 総 口 数	23,109,107,082口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,883円

(注記事項)

期首元本額	20,182,845,296円
期中追加設定元本額	3,682,339,855円
期中一部解約元本額	756,078,069円

■損益の状況

当期 自2023年6月16日 至2023年12月15日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	486,202円
受 取 利 息	779,714
支 払 利 息	△ 293,512
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	4,025,771,539
売 買 益	4,078,089,005
売 買 損	△ 52,317,466
(C) 信 託 報 酬 等	△ 199,328,920
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	3,826,928,821
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	7,461,419,468
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,152,125,721
(配当等相当額)	( 5,429,159,128)
(売買損益相当額)	(△ 4,277,033,407)
(G) 計 (D + E + F)	12,440,474,010
(H) 収 益 分 配 金	△ 1,155,455,354
次期繰越損益金 (G + H)	11,285,018,656
追加信託差損益金	1,152,125,721
(配当等相当額)	( 5,429,159,128)
(売買損益相当額)	(△ 4,277,033,407)
分配準備積立金	10,132,892,935

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (466,269円)、費用控除後の有価証券等損益額 (3,826,462,552円)、信託約款に規定する収益調整金 (5,429,159,128円) および分配準備積立金 (7,461,419,468円) より分配対象収益は16,717,507,417円 (10,000口当たり7,234円)であり、うち1,155,455,354円 (10,000口当たり500円)を分配金額としております。

## ■分配金のお知らせ

決 算 期	第36期
1 万口当たりの分配金 (税 込 み)	500円

## ◇分配金をお支払いする場合

分配金は決算日から起算して5営業日目までにお支払いを開始しています。

## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

## 【分配原資の内訳】

(単位：円・1万口当たり・税込み)

項 目	第36期
	(2023年6月16日～2023年12月15日)
当期分配金	500
(対基準価額比率)	(3.250%)
当期の収益	500
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,734

(注1)「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

(注2)「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

## 《お知らせ》

- ・2024年1月1日より開始する新しいNISA（少額投資非課税制度）のうち成長投資枠の対象とするべく、税法上の要件を満たしていることを明確化するため、2023年9月16日付で投資信託約款に所要の変更を行いました。

## &lt; 1. 補足情報 &gt;

組入ファンド「Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ」の決算日（毎年6月末日）と当ファンドの決算日が異なっていますので、2023年12月14日現在の情報を掲載しています。

■ 有価証券明細（評価額上位30銘柄）（2023年12月14日現在）  
株式

	銘柄	通貨	株数	評価額（米ドル）
インド	HDFC BANK LTD	INR	3,068,150	60,756,406.99
	ICICI BANK LTD	INR	4,394,986	54,515,886.12
	INFOSYS TECHNOLOGIES	INR	2,754,478	49,629,768.91
	LARSEN & TOUBRO LTD	INR	1,065,797	43,908,946.57
	AXIS BANK	INR	2,411,995	32,431,045.90
	MARUTI SUZUKI SHS	INR	233,216	28,975,104.88
	ULTRA TECH CEMENT	INR	230,517	27,561,207.26
	MAHINDRA & MAHINDR	INR	1,177,726	24,076,381.62
	ABB LTD	INR	383,285	22,042,809.81
	STATE BANK OF INDIA	INR	2,894,523	21,662,571.15
	RELIANCE INDUSTRIES LTD	INR	639,161	18,900,334.02
	DIVI'S LABS	INR	395,013	17,459,377.74
	TIMKEN INDIA LTD	INR	426,770	16,398,363.14
	NESTLE INDIA DEMATERIALISED	INR	53,961	16,054,855.29
	EICHER MOTOR LTD	INR	311,114	15,255,481.89
	HDFC ASSET MANAGEMENT COMPANY LTD	INR	411,136	15,045,732.47
	L&T TECHNOLOGY SERVICES LTD	INR	241,762	14,791,416.18
	HDFC LIFE INSURANCE COMPANY LTD	INR	1,785,822	14,670,179.05
	BAJAJ AUTO	INR	182,827	13,898,525.86
	ICICI LOMBARD GENERAL INSURANCE COMPANY LTD	INR	788,401	13,841,039.89
	HINDALCO INDUSTRIES	INR	2,072,318	13,506,047.50
	SHREE CEMENT	INR	36,604	12,621,249.32
	TECH MAHINDRA LTD	INR	804,302	12,206,713.12
	TATA STEEL LTD	INR	7,421,983	11,756,714.10
	DLF LTD	INR	1,380,472	11,587,970.79
	PAGE INDUSTRIES LTD	INR	24,861	11,240,848.18
	SCHAEFFLER INDIA LTD	INR	291,345	10,717,334.68
	PROCTER & GAMBLE HYGIENE & HEALTH CARE LTD	INR	51,445	10,593,262.82
	FSN E COMMERCE VENTURES LIMITED	INR	4,816,822	10,288,988.24
	MAHINDRA & MAHINDRA FIN SECS	INR	2,554,900	8,871,344.89

(注) 通貨欄の表記は以下の通りです。  
INR(インドルピー)

< 2. 補足情報 >

組入ファンド「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」の決算日（2023年2月15日）と当ファンドの決算日が異なっていますので、2023年12月15日現在の情報を掲載しています。

■主要な売買銘柄（2023年2月16日から2023年12月15日まで）

公社債

買		付		売		付	
銘柄	柄	金額	金額	銘柄	柄	金額	金額
			千円				千円
第11回政府保証地方公共団体金融機構債券（4年）		50,023					
第134回共同発行市場公募地方債		100,353					
第137回共同発行市場公募地方債		50,289					
第139回共同発行市場公募地方債		150,810					

（注1）金額は受渡し代金です。経過利子分は含まれていません。

（注2）単位未満は切捨てです。

（注3）国内の現先取引によるものは含まれていません。

■組入資産の明細（2023年12月15日現在）

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区分	2023年12月15日現在						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地方債証券	350,000	351,076	71.6	—	—	—	71.6
合計	350,000	351,076	71.6	—	—	—	71.6

（注1）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）単位未満は切捨てです。

（注3）—印は組入れなしです。

（注4）評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入力しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

種類	銘柄	2023年12月15日現在			
		利率	額面金額	評価額	償還年月日
		%	千円	千円	
地方債証券	第11回政府保証地方公共団体金融機構債券	0.001	50,000	49,994	2024/8/28
	第134回共同発行市場公募地方債	0.674	100,000	100,294	2024/5/24
	第137回共同発行市場公募地方債	0.566	50,000	50,180	2024/8/23
	第139回共同発行市場公募地方債	0.544	150,000	150,607	2024/10/25
合計			350,000	351,076	

（注）額面・評価額の単位未満は切捨てです。

Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ  
 決算日 2023年6月30日  
 (計算期間：2022年7月1日～2023年6月30日)

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに委託会社が翻訳・抜粋・作成しています。なお、開示情報につきましては各クラス別の情報がないため、全てのシェアクラスを含むファンド全体の情報を開示しています。

■費用の明細 (2022年7月1日～2023年6月30日)

項目	当期
	米ドル
(a)運用報酬	3,923,604
(b)成功報酬	34,051
(c)管理費用等	1,642,326
(d)その他の費用	11,775,074
合計	17,375,055

■純資産計算書 (2023年6月30日現在)

項目	当期末
	米ドル
<b>資産合計</b>	532,900,511
有価証券	507,867,215
預金	23,853,859
未収配当金	1,108,733
未収追加設定金	70,704
<b>負債合計</b>	15,525,528
未払解約金	670,780
未払運用報酬	1,011,029
その他の負債	13,843,719
<b>純資産</b>	517,374,983

(注) 各項目の金額の整数未満を四捨五入しているため、資産合計および負債合計並びに純資産が一致しない場合があります。

## ■有価証券明細 (2023年6月30日現在)

数量	評価額 米ドル	数量	評価額 米ドル
<b>株式</b>	<b>507,867,215</b>		
自動車・部品	23,682,493	パーソナルケア・薬品・食料品店	16,074,241
198,469 MARUTI SUZUKI SHS	23,682,493	372,117 PHOENIX MILLS DS	7,091,366
銀行	119,482,705	51,445 PROCTER & GAMBLE HYGIENE & HEALTH CARE LTD	8,982,875
2,005,032 AXIS BANK	24,134,073	パーソナル用品	19,919,797
1,700,376 HDFC BANK LTD	35,265,138	11,924 PAGE INDUSTRIES LTD	5,472,035
3,758,469 ICICI BANK LTD	42,818,449	388,903 TITAN COMPANY LTD	14,447,762
2,472,479 STATE BANK OF INDIA	17,265,045	医薬・バイオテクノロジー	11,120,370
化学	8,727,777	254,569 DIVI'S LABORATORIES LTD	11,120,370
1,574,998 CHEMPLAST SANMAR LTD	8,727,777	不動産投資・サービス	8,254,772
建設・資材	65,956,234	1,380,472 DLF LTD	8,254,772
1,111,339 LARSEN & TOUBRO LTD	33,536,092	ソフトウェア・コンピューターサービス	63,948,133
36,604 SHREE CEMENT	10,657,966	2,570,832 INFOSYS TECHNOLOGIES	41,851,572
215,231 ULTRA TECH CEMENT	21,762,176	211,208 L&T TECHNOLOGY SERVICES LTD	10,133,762
消費者サービス	5,507,008	166,147 TATA CONSULTANCY SERVICES	6,688,006
3,040,204 FSN E COMMERCE VENTURES LIMITED	5,507,008	382,654 TECH MAHINDRA LTD	5,274,793
金融サービス	10,228,763	テクノロジーハードウェア・機器	8,120,290
297,358 HOUSING DEVELOPMENT FINANCE CORP LTD	10,228,763	2,358,082 V GUARD INDUSTRIES	8,120,290
食品製造	12,019,220	<b>合計</b>	<b>507,867,215</b>
43,068 NESTLE INDIA DEMATERIALISED	12,019,220		
エンジニアリング	22,048,324		
317,025 ABB LTD	17,092,463		
118,754 TIMKEN INDIA LTD	4,955,861		
工業用金属・採鉱	27,147,651		
1,782,419 HINDALCO INDUSTRIES	9,146,070		
208,397 SCHAEFFLER INDIA LTD	7,868,718		
7,421,983 TATA STEEL LTD	10,132,863		
産業輸送	32,468,092		
231,958 EICHER MOTOR LTD	10,122,755		
1,261,095 MAHINDRA & MAHINDR	22,345,337		
投資銀行・仲介サービス	23,950,195		
411,136 HDFC ASSET MANAGEMENT COMPANY LTD	11,504,967		
1,567,813 HDFC LIFE INSURANCE COMPANY LTD	12,445,228		
生命保険	12,920,699		
788,401 ICICI LOMBARD GENERAL INSURANCE COMPANY LTD	12,920,699		
石油・ガス・石炭	16,290,451		
524,030 RELIANCE INDUSTRIES LTD	16,290,451		

## CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）

## 運用報告書

《第16期》

決算日：2023年2月15日

（計算期間：2022年2月16日～2023年2月15日）

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに、期中の運用状況についてご報告申し上げます。

## ■投資対象ファンドの概要

運用方針	主として本邦通貨表示の短期公社債に投資し、安定した収益の確保をめざして運用を行うとともに、あわせてコール・ローンなどで運用を行うことで流動性の確保を図ります。
主要運用対象	本邦通貨表示の短期公社債を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

## ■最近5期の運用実績

決算期	基	準 価 額		債券組入率 比	純 資 産 額
		税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率		
12期（2019年2月15日）	円	円	%	%	百万円
12期（2019年2月15日）	10,055	0	△0.1	59.0	763
13期（2020年2月17日）	10,048	0	△0.1	61.1	788
14期（2021年2月15日）	10,042	0	△0.1	64.6	773
15期（2022年2月15日）	10,035	0	△0.1	70.8	552
16期（2023年2月15日）	10,027	0	△0.1	74.3	473

（注）当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。以下同じ。

## ■ 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組 入 率
		騰	落	
(期 首) 2022年 2月15日	円 10,035	% —	% 70.8	% 70.8
2月末	10,035	0.0		72.7
3月末	10,034	△0.0		70.4
4月末	10,033	△0.0		72.0
5月末	10,033	△0.0		76.0
6月末	10,033	△0.0		71.3
7月末	10,033	△0.0		71.8
8月末	10,032	△0.0		71.7
9月末	10,031	△0.0		71.8
10月末	10,031	△0.0		72.0
11月末	10,028	△0.1		77.3
12月末	10,024	△0.1		67.3
2023年 1月末	10,026	△0.1		70.8
(期 末) 2023年 2月15日	10,027	△0.1		74.3

(注) 騰落率は期首比です。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第16期 (2022年 2月16日 ～2023年 2月15日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	1円	0.011%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投 信 会 社）	(1)	(0.009)	委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	(0)	(0.001)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(0)	(0.002)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.007	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（そ の 他）	(1)	(0.007)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	2	0.018	

期中の平均基準価額は10,031円です。

(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。



## ■ 売買及び取引の状況 (2022年2月16日から2023年2月15日まで)

## 公社債

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国内	地方債証券	724,687	100,031 (660,000)

(注1) 金額は受渡し代金です。経過利子分は含まれておりません。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ■ 主要な売買銘柄 (2022年2月16日から2023年2月15日まで)

## 公社債

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
千円		千円	
第128回共同発行市場公募地方債	251,715	第715回東京都公募公債	100,031
第116回共同発行市場公募地方債	150,919		
第715回東京都公募公債	120,642		
第375回大阪府公募公債(10年)	100,821		
平成24年度第13回愛知県公募公債(10年)	100,590		

(注1) 金額は受渡し代金です。経過利子分は含まれておりません。

(注2) 国内の現先取引によるものは含まれておりません。

## ■ 利害関係人との取引状況等 (2022年2月16日から2023年2月15日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■ 組入資産の明細 (2023年2月15日現在)

## 公社債

## (A) 債券種類別開示

## 国内(邦貨建)公社債

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
千円	千円	%	%	%	%	%	
地方債証券	350,000 (350,000)	351,667 (351,667)	74.3 (74.3)	—	—	—	74.3 (74.3)
合 計	350,000 (350,000)	351,667 (351,667)	74.3 (74.3)	—	—	—	74.3 (74.3)

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) 一印は組入れなしです。

(注4) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

## (B) 個別銘柄開示

## 国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄	当 期			末
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
地方債証券	第375回大阪府公募公債(10年)	0.835	100,000	100,435	2023/8/29
	第128回共同発行市場公募地方債	0.66	250,000	251,232	2023/11/24
合 計			350,000	351,667	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨てです。

## ■投資信託財産の構成 (2023年2月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	351,667	74.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	121,795	25.7
投 資 信 託 財 産 総 額	473,462	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨てです。

## ■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2023年2月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	473,462,230円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	120,619,388
公 社 債(評価額)	351,667,500
未 収 利 息	667,316
前 払 費 用	508,026
(B) 負 債	73,719
未 払 信 託 報 酬	67,433
未 払 利 息	346
そ の 他 未 払 費 用	5,940
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	473,388,511
元 本	472,090,843
次 期 繰 越 損 益 金	1,297,668
(D) 受 益 権 総 口 数	472,090,843口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C/D)	10,027円

(注記事項)

期首元本額	550,147,769 円
期中追加設定元本額	168,597,032 円
期中一部解約元本額	246,653,958 円

## ■損益の状況

当期 自2022年2月16日 至2023年2月15日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	2,428,904円
受 取 利 息	2,536,785
支 払 利 息	△ 107,881
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 2,670,152
売 買 益	364,823
売 買 損	△ 3,034,975
(C) 信 託 報 酬 等	△ 111,094
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 352,342
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 506,244
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	2,156,254
(配 当 等 相 当 額)	( 14,497,773)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△12,341,519)
(G) 計 (D+E+F)	1,297,668
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	1,297,668
追 加 信 託 差 損 益 金	2,156,254
(配 当 等 相 当 額)	( 14,497,773)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△12,341,519)
分 配 準 備 積 立 金	6,399,260
繰 越 損 益 金	△ 7,257,846

(注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。